

本部;代表 姜徳洙(大阪府八尾市志紀町 3-30 八尾市韓国人会館内 TEL.072-949-1521, FAX072-949-4337)。編集; 理事長 久保井規夫(大阪府高槻市川添 1-3-20 TEL. FAX;072-695-3210 Email;aphckuboi@ybb.ne.jp)

### 「図説 竹島=独島問題の解決」で重視すべき焦点は何か 久保井規夫(理事長、元桃山学院大学教員、歴史学名誉博士)

#### <近世(江戸期)>

#### ①江戸初期、朝鮮は于山島(独島=竹島)を現地調査で認証していた

朝鮮古地図に記された鬱陵島近くの于山島を独島=竹島とみなす説は、その古地図だけでは、立証が困難である。竹島・象島・観音島など周辺の島が描かれず、于山島の位置や大きさが不正確なためである。しかし、現地調査史料で実証されていた。1694年9月、朝鮮国王肅宗の命で、江原道三陟都護符検使の張漢相による報告「鬱陵島事跡」である。鬱陵島聖人峰に登って、「東の方を見ると海の中に島が一つあり、はるか東南の方に在った。その島の大きさは、鬱陵島の三分の一にも満たないし、距離は三百余里に過ぎない」と記す。独島=竹島は、日本の隠岐島からは目視できないが、鬱陵島からは目視できる近距離である。拙著、写真を参照されたい。日本外務省は、目視の近距離を隠蔽する。



鬱陵島から目視できる夜明けの独島=竹島。撮影 2012 年秋、金永坤。

#### ②長久保赤水の正規「元版」「改正版」と「海賊版」の存在

日本外務省が、「歴史的にも日本領土」と証左する史料として、トップに掲示してきたのが、長久保赤水「改正日本輿地路程全図」弘化版(1846年)である。ところが、私は、改正前の試作の『元版』を発見し、改正したのは、「竹島=今日の鬱陵島」「松島=今日の竹島」の二島を領外(朝鮮領土)としたことと判明した。「元版」(日本領と間違える隠岐島同様の黄色着色)を誤りとして、その後の版を重ねた「改正版」(1779年初版以降は、朝鮮領として無色)を比較すれば歴然である。

なお、外務省「竹島問題を理解するための10のポイント」表紙・ポイント①に掲示された長久保赤水「改正日本輿地路程全図」弘化版(1846年)が、正規版でなく日本側に有利に着色された海賊版であることを指摘した。さらに、正規の天保版(1840年)では、竹島・松島そのものが異国(朝鮮領)として、掲載さえも削除されていることを、原史料で提示した。



安永 8(1811)年元版、隠岐島同様に日本領と間違える、黄色に松島・竹島が着色されていた。これを無色、朝鮮領と改正したのである。

#### ③日本政府は欧米近代地図を隠蔽してきた

経緯度や水路を測量した欧米近代地図は正確度が増す。特に、日本、朝鮮、中国と分別した地図よりも、隣国とともに広く提示された地図が、各国の領土を明示しているから貴重である。高価で原本が入手困難である。それでも、19~20世紀の欧米地図原本を数十点を検証したが、日本領と判別されたのは僅か二点、他はすべて朝鮮領と明示されていた。なお、長崎に在留したシーボルトが、1840年、欧米測量のアルゴノート島を竹島(実際は鬱陵島)ダジュール島を松島(竹島=独島)と位置付けて、欧米諸国へ誤報した影響は大きい。即ち、鬱陵島の他に竹島、松島として、三つの島が存在する誤解を流布した。

#### ④江戸期や明治初まで、鬱陵島=竹島とは認識しなかった

江戸期から明治初めまで、鬱陵島=竹島とは、島根県・日本政府は認識していなかった。鬱陵島が朝鮮国領であることは、秀吉の朝鮮侵略時に広められた「朝鮮八道図」にて、日本国内でも周知されていた。しかし、経緯度無き縦長の朝鮮国図では、鬱陵島は朝鮮本土の東南部に、極めて近距離に図示されてきた。その為、日本側では、竹島は鬱陵島ではなく、新島発見の竹島として認識され、その付属島として松島(今日の独島=竹島)は認識されてきた。

つまり、日本海には、鬱陵島、竹島、松島の三島が存在するとされていたのである。だから、元禄島



取藩竹島一件では、新島として竹島への「渡海免許」を許可したわけであった。朝鮮人も渡海してきていることに驚き、異国(朝鮮領)と幕府は決定し、鳥取藩に渡海を禁じたのである。なお、江戸期に、日本側は、北側の海を日本海とは呼ばずに朝鮮海とし、南側の太平洋側を大日本海と呼称していた。

### ⑤朝鮮領とした天保竹島一件を隠蔽してはならない

日本政府側が不利な史実故に隠蔽する、もう一つの竹島一件がある。すなわち、1836年、天保浜田藩竹島一件である。それに惑わされて韓国政府も取り上げてこなかった。1693年、元禄鳥取藩竹島一件とは、全く違う面がある。まず元禄鳥取藩竹島一件の場合は、新島と見ていた竹島を朝鮮領と認定したこと、鳥取藩だけに異国渡海を通知して禁止した内々の事件であった。元禄、天保の竹島一件にて、江戸幕府は、竹島・独島を朝鮮領と認定決定した。しかし、天保浜田藩竹島一件は、桁違いに大事件であった。まず、松島(今日の竹島=独島)渡海を免許としたことが朝鮮(異国)渡海禁止違反とされたこと、幕府取調書付図にて竹島・松島が朝鮮領と明示されていたこと、1837年、高札にて全国津々浦へ、竹島・松島への渡海したことは異国(朝鮮)への渡海であり鎖国令違反として周知されたことである。

### <近代(明治期)>

### ⑥江戸幕府に続き、明治政府も、朝鮮領と認定していた

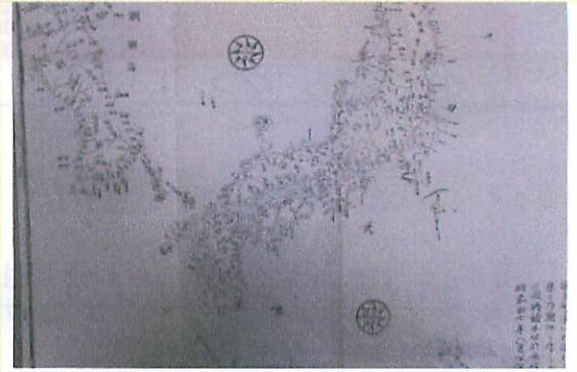
江戸幕府の、元禄竹島一件と天保竹島一件を踏まえて、明治政府も判断した。すなわち、島根県からの「竹島他一島を領地とすべきか」との問い合わせに、これを否定して1877年3月29日、「太政官指令」で、両島とも朝鮮領地と認める決定をした。かくて、松島(今日の独島=竹島)は朝鮮領として解決していた。その判断とされた、島根県から提示された竹島(鬱陵島)・松島(独島=竹島)の付図が重要である。外一島が松島(独島=竹島)であることは明確である。

### ⑦大韓帝国勅令41号で韓国領鬱郡管轄下とした

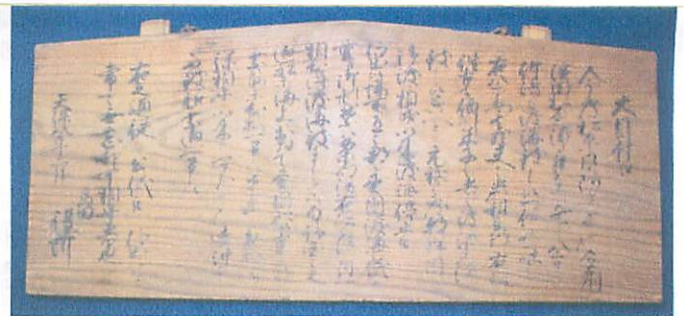
日本政府が無視してきたのが、1900年10月25日、大韓帝国勅令41号である。官報にも明示

され、「鬱

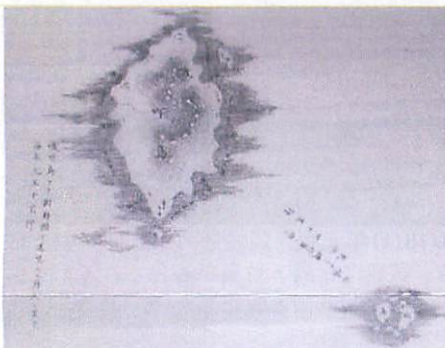
陵島を鬱島と改称し、江原道に所属させ、島監を郡守に改正し…鬱陵全島と竹島、石島を管轄する事」である。この石島、トルト、トクトが同発音の独島である。この勅令を発令した背景は、鬱陵島での日本人による不法伐採などの侵入に、国際法的にも韓国の領有を明確にするためであった。勅令発令前(1899年6月29日)に調査団が派遣された。全権を任された禹用鼎を団長として、国際的に、日本側調査員として赤塚正助(釜山副領事)、仏人ラ・ボーテ(釜山税関吏)も同行した。禹用鼎団長は、鬱陵島に付属させる島として、離れた竹島、石島を報告した。仏人ラ・ボーテは、「皇城新聞」(1899.9.23)で、竹島、于山島と報告した。石島=于山島=リアンクールロックである。さらに、露国が韓国の許可を得て測量したリアンクールロック水路図、お抱え独島人ヘッセー所持の地



江戸幕府公儀天文方の工藤東平「大日本沿海要疆全図」嘉永7(1854)年6月。鬱陵島・竹島・松島の三島がある。朝鮮海と日本海の表記も注目されたい。



大目付より諸大名へ下した天保八年十二月、竹島一件高札。浜田藩の竹島・松島渡海を異国渡海を鎖国令禁止違反とした。鳥取藩に限った元禄と違って、全国へ布令した



島根県附図の、竹島(鬱陵島)東南の松島(リアンクールロック)は朝鮮領とされた



竹島=独島の東島上陸地点。巡洋艦対馬撮影。1904年11月20日



図のリアンクールロック掲載などの史料が、これを実証する。また、日本「軍艦新高行動日誌」の「明治37年9月25日条」に、蔚陵島にて「リアンコルド岩、韓人之を独島と書し、本邦漁夫等、略してリャンコ島と呼称セリ」記される。蔚陵島民自体も、1904年に独島と記して、自国領と認知していた事実が重要である。

## <近代(日露戦時)>

### ⑧日露戦争時に、違法に日本領に組み込んだ

日露戦時、ウラジオストック港露艦隊へ合流せんとするバルチック露艦隊を前にして、蔚陵島・リアンクールロック(独島=竹島)が、ウラジオストックへの監視所要地として戦略要地となった。そこで、島根県民中井養三郎の申請を口実に、日本政府は、韓国領と決定していたリアンクールロック(独島=竹島)を、1905年2月22日(竹島の日)、突然、閣議決定にて、日本領に組み込んだ。これは、1900年大韓帝国勅令を否定し、隣国との領土確定手続きを無視した国際法違反であり、無効である。さらに1877年「太政官指令」を覆す、明治憲法でも一事不再議違反で無効である。独島=竹島の強奪は、韓国「併合」侵略の初めと言えよう。

なお、日露戦時に日本海軍の軍艦が使用した水路図は、海軍水路部長肝付兼行(中井養三郎にリアンクールロックを日本領有とするよう申請を奨めた人物)の作成である。手許に在る、海戦時に、露艦隊と併進して全容を伝えた、巡洋艦和泉使用の水路図には、竹島でなくリアンクールロックと記載されていた。

### ⑨望楼・航路標識・軍用海底電線の設営を狙った

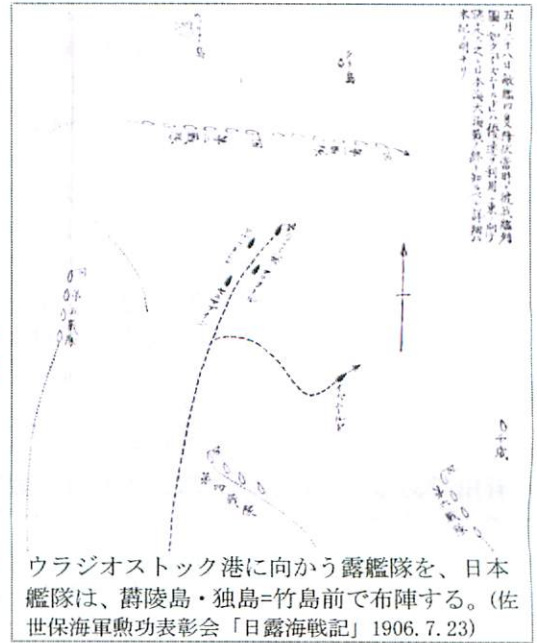
何よりも日露戦争時の露艦隊対策の戦略として、望楼・航路標識・軍用海底電線設営が急がれた。中井養三郎の申請(1904.9.29)や日本領「竹島」との閣議決定(1905.1.28)よりも先に、1904年1月4日、山本海軍大臣は、大浦通信大臣へ軍用海底電線の架設を要請した。東郷連合艦隊司令官からも、海軍省軍令部を通して、望楼・航路標識・軍用海底電線設営が急務として督促した。旅順陥落(1904.12.31)後、バルチック露艦隊が向かうのは、ウラジオストック港であり、航路に当たる韓国南岸・東岸・対馬海峡、別航路になる津軽海峡、宗谷海峡にも設営がなされていく。東岸の竹辺港、蔚陵島、リアンクールロック(独島=竹島)は、その横側を北上すれば、ウラジオストック港であり、最後の望楼・電話連絡ができる要地となる。当然、設営が予定された。海軍によるリアンクールロックの現地調査は、先ず巡洋艦新高が1904年9月24日に実施した。続けて巡洋艦対馬は、1904年11月20日に上陸して、望楼、監視員家屋、海底電線の設営を綿密に調査して、1905年1月5日、肝付水路部長へ書面報告した。海軍の望楼・航路標識・軍用海底電線設営は急がれたため、監視用の望楼などは、後に航海用に灯台・航路標識に整備する以外は、殆どが仮設望楼であった。露艦船から目視できないような位置・構造に工夫が必要であった。リアンクールロックのような小さな岩礁島では尚更である。作戦要地だが、湧水も無く、居住不可の岩礁であるリアンクールロックを一方的に「無主地先占」として、日本は韓国より強奪し、密やかに軍用設営をしたのである。この作戦は、海軍軍令部「極秘明治三七八年海戦史」防衛庁に記述されているが、原本閲覧は不可で、一部複製しか閲覧できない。しかし、拙著には、新史料として、海軍の望楼・航路標識・軍用海底電線設営工事の写真史料を入手し、数多く提示することができた。巡洋艦対馬が上陸時に撮影した、リアンクールロックの最古の写真も含まれている。戦略要地として日本が強奪した証左である。

## <現代(戦時・戦後)>

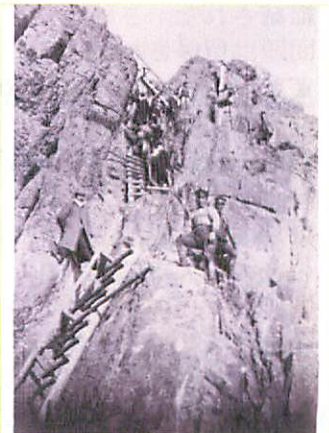
### ⑩太平洋戦争時も朝鮮戦争でも、戦略要地であった

竹島=独島は、唯一、日本海に蔚陵島と並ぶ島である。対露(ソ連)ウラジオストック港に対して、日清・日露・太平洋戦争など、戦略上の要地であった。だから、太平洋戦争時、管轄は、島根県から海軍舞鶴鎮守府に移されていた。

戦後、直ちに冷戦時の中国・朝鮮に於いて、リアンクールロック(独島=竹島)をマッカサーラインにて



ウラジオストック港に向かう露艦隊を、日本艦隊は、蔚陵島・独島=竹島前で布陣する。(佐世保海軍勲功表彰会「日露海戦記」1906.7.23)



海底電線設営工事。1904年



日本の漁業水域から除外した。これを韓国李承晩大統領は、領海として位置付けた。日韓交渉が実施できない時期の所作である。朝鮮戦争が勃発するや、韓国領として返還される予定だったリャンクールロックを韓日いずれの所属ともせず、在日米軍管轄地として、戦闘・爆撃機の戦略地と位置付けた。明確な日本領土の、小笠原諸島も、沖縄・南西諸島も、北方諸島も日本領でなかった。

米英占領軍を中心とする連合国は、リャンクールロック(独島=竹島)を韓国領として位置付け、日本領から除外していた。それが、朝鮮戦争の勃発で領有が棚上げされた。新史料として、米国大使館一等書記官ジョン・スティープスの書簡をあげる。「リャンクール岩礁は朝鮮王朝の領土だった。岩礁は、もちろん、日本帝国が韓国を合併した時、韓国の残りの領土と共に日本に編入された。……日本海域に在る、この岩礁は、北朝鮮領土に爆撃をして帰ってくる米軍爆撃機に有用である。この岩礁を識別すれば、爆撃する目標地点が明確となる。したがって、日米安保条約の作戦地域として合意され、上記のような目的に寄与した。……たとえ、誰がリャンクール岩礁を韓国領土と主張しても、在日米軍が戦略上必要としたことを理解することが優先されるべきである」。最早明白である。在日米軍の戦略を優先して、韓国領と認識し変換する予定だったリャンクール岩礁の領有を有耶無耶にしたのであった。冷戦時下で、米国から国交正常化を急かされ、日韓会談は、植民地支配・戦後処理をめぐり、14年に渡り決裂・頓挫しながらも、1965年「日韓基本条約」がやっと締結された。されど、リャンクールロック(独島=竹島)領有問題は留保されたままであった。



### 日友好の新漁業協定と、対立の「竹島の日」条例

日韓両国は、リャンクールロック(独島=竹島)領有を未解決だったが、日本政府は、1977年元旦から、領海12海里、排他的経済水域200海里を施行した。竹島=独島を日本領土とした。対して、1978年4月30日、韓国も同様の排他的経済水域を適用し、独島=竹島を韓国領とした。幸い軍事政権から民政移管した友好の金大中大統領政権となった。1998年11月28日、「漁業に関する日本国と大韓民国との間の協定」が締結された。これは、竹島=独島領有権問題を封印して、日韓両国民が共同操業できる暫定水域を合意したものであった。独島=竹島を実効支配する韓国政府としては、日本以上に強い領土ナショナリズムを抑えての大きな譲歩であった。されど、水域の確認や、漁期・漁法・対象魚介・漁獲量などが不確定であり、日韓漁業共同委員会が機能しなかった。熱心に、協議を進めれば、日本にとって決してマイナスは無かった。



隣国との経済水域問題として解決できた問題を、話し合いでなく一方の立場だけを主張して、解決困難な問題にしているのが、2005年3月16日、島根県「竹島の日2/22」条例である。また、独島=竹島を韓国「併合」侵略の始まりとして、譲ることのできない領土として実効支配している韓国に対して、第三者に任せようとする国際司法裁判所への寄託判決を提案するなど、係争両国の同意があって実施される前提から、絶対不可の提案である。日本が仲裁を頼る同盟国の米国は、韓国とも同盟国である。米国防総省も、米国政府地名委員会も、リャンクールロックを独島、韓国領と明記し、それが国際的に位置づいている。きちんと知らされていないのは、日本国民である。「日韓基本条約」で論議されたリャンクールロック(独島=竹島)の内容も、国益の秘密保護として非公開である。日韓両国が、堂々とリャンクールロック(独島=竹島)の領有権を論議主張すべきである。論議し、領有権を確定できる新史料も揃ってきた。世論を背景として、公開の歴史認識シンポジウム開催と、誠意ある外交に期待し、納得できる話し合いでハードルを越えて、本来、希望する隣国との日韓友好を進めたい。

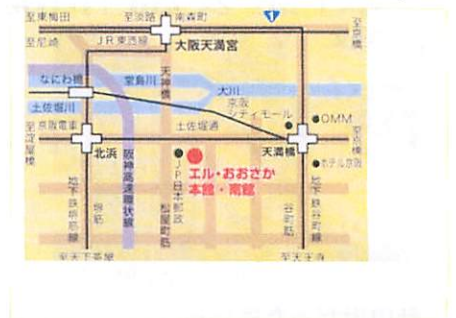


2/22(日)13時~ エルおおさか南館五階ホール(当日資料代500円)

## 第七回「竹島の日」を考え直す集い 対立より友好を 「日韓基本条約」五十年を迎え、「竹島の日」十年を批判する

主催 「竹島の日」を考え直す会 (代表 姜徳洙 072-949-1521)

竹島=独島問題は、領土問題ではなく歴史問題である。近世:江戸幕府は、元禄鳥取藩竹嶋一件、続けて天保浜田藩竹嶋一件にて、朝鮮国と折衝し、竹島(当時は松島の名称)は朝鮮国領と決定した。近代:明治政府も、島根県領土編入伺いに対し、竹島(当時は松島の名称)は朝鮮国領と、太政官指令で決定した。また、大韓帝国も、勅令第41号で国際法的に独島=竹島の領有を決定して官報にも公示した。韓国が表記した独島の名称を日本国側も認知していた。ところが、日露戦争時に、韓国を占拠していた日本軍は、竹島=独島をバルチック露艦隊が向かうウラジオストック港対策の戦略要地と重視した。急遽、閣議決定で「無主地・先占」と称して日本領有化し、監視望楼・海底電線を設営することとした。これは、韓国との国際法違反であり、すでに朝鮮国領と政府決定したことを一事不再議の国内法違反したものである。その背景には、韓国側の反論・抵抗をできなくした、日本による韓国保護国化に続く、韓国「併合」の歴史がある。日本敗戦後、植民地解放として、米英連合軍は、竹島=独島を韓国領として返還を決定していた。しかし、米ソ冷戦下による朝鮮戦争が事態を一変した。ソ連軍の介入も予測し、ウラジオストック露港も重視した。戦略要地として、竹島=独島は、在日米軍の管轄とされ、韓国領有化が棚上げされた。



このように「竹島の日」制定は、国際法・国内法違反に基づくもので、「日韓基本条約」による国交正常化以前に逆戻りさせるものである。まして、文部科学省は、竹島=独島を「韓国が不法占拠している」と記した検定教科書による領土教育を、小中高の学校教育で展開することを教師へ命じた。外交にて解決すべき問題を、日本政府側だけの見解を学校教育(子どもたち)に持ち込み、韓国への敵愾心を煽るだけで、解決も友好も阻害する。在日韓国・朝鮮人の子どもたちへ学校・地域でのヘイトスピーチやいじめが危惧される。私たちは、歴史の真実に基づき、対立でなく友好を取り戻しましょう。

日時 2/22(日)13時 展示パネルの解説、 13時30分~17時 講演・DVD。

会場 エルおおさか南館五階ホール(地下鉄・京阪の天満橋駅西へ300m)

テーマ 独島=竹島問題の解決とヘイトスピーチ批判

パネル展示 独島=竹島問題と韓国「併合」/軍「慰安婦」問題の真実

独島=竹島問題について、日韓両政府が提示する史料・冊子では不十分として、新史料を提示する。また、軍「慰安婦」問題については、「朝日新聞」パッシングの如き、「慰安所」・性強制・悲惨な被害に対する日本軍関与を否定する誤魔化しを糾す。公文書・戦記・手記・写真などの新史料をパネル掲示・解説にて、一目瞭然とする。

DVD 「韓国の美しき独島」/「ヘイトスピーチを問う」

講演:集会決議 ◆「日韓基本条約」と竹島密約なるもの 黒田伊彦(元大阪樟蔭女子大学教員) 竹島問題を条約では触れない「竹島密約」なるものと、軍「慰安婦」など個人的補償請求権など、「日韓基本条約」締結を検証し、今日、外交文書未公開の「秘密保護法」施行下での状況を告発する。

◆「KOREA TODAY」に連載した「竹島=独島を考える」を語る 仕田原猛(やまと言葉研究家) 既刊書籍を読み解き、竹島=独島問題を分かり易く連載した。◆「独島義勇守備隊について」 金文吉(釜山外国語大学名誉教授) 島根県竹島問題研究会が「事実を確定していない」と調査不足の独島義勇守備隊を語る。

◆「図説竹島=独島問題の解決」の焦点は何か 久保井規夫(元桃山学院大学教員)

多くの新史料を発掘・解説した拙著より、独島=竹島問題の解決の焦点は何かを整理報告する。

◆「竹島の日」・領土教育抗議の集会決議 (阿部内閣、島根県知事に対して)

パネル展示の概略 アジア民衆歴史センター協力(詳細は同機関紙参照)

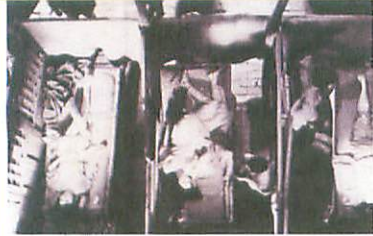
<独島=竹島問題と韓国「併合」>日露戦時の領土略奪である

◆竹島=独島を図示する韓国(朝鮮)・日本・欧米の古絵図・地図など初公開の原史料である。日本外務省が歴史的に日本領と証明した長久保赤水図は、竹島が朝鮮領であることを示した史実を立証する。元禄鳥取藩竹嶋一件。日本政府が隠蔽する天保浜田藩竹嶋一件。浜田藩・長州藩の御用商人西村家文書。八右衛門幕府取調書。天保竹嶋一件の異国渡海禁止の高札。これらの史料で、江戸幕府は、竹島を朝鮮領土と認め決定していた。明治政府も、太政官指令で、朝鮮領として、解決済みだった。さらに、韓国勅令で蔚郡に明示し、官報に明示し、国際法的にも正式な領有がなされていた。その史実を日露戦争時に、海軍による最古の竹島=独島、監視所・海底電線設営工事の写真史料は、露艦隊との戦略による領土強奪を証明する。露艦を発見、追尾した巡洋艦信濃・和泉所蔵の



水路図(肝付兼行水路部長製作)は、竹島でなく「リアンクールロック」と記す。ウラジオストック露港と竹島=独島と日露海戦の戦略的地図。すべては、韓国「併合」と繋がる侵略である。江華島事件、壬午軍乱、甲午農民戦争から、日清戦争・日露戦争を経て、韓国「併合」による侵略の植民地支配を図示する。戦後GHQ占領下・朝鮮戦争と、非常事態下で、両国が外交交渉による解決の道は閉ざされ、在日米軍の戦略で、独島=竹島領有が左右されたことが問題化の要因となる。わずかに、韓国が譲歩した「新漁業協定」は、友好と解決への道を示す。

## <軍「慰安婦」問題の真実>女性の人権を侵害した戦争犯罪である



千田夏光原作・東映「従軍慰安婦」

1. 千田夏光「従軍慰安婦」や田村泰次郎「春婦伝」は、映画化。2. 軍医麻生徹男「戦線女人考」。小学校にて「慰安婦」診察と朝鮮人「慰安婦」。軍直営「慰安所」の存在。3. 村瀬守保写真集「私の従軍中国戦線」、「慰安所前に列なす日本兵」「慰安婦」。4. 田村泰次郎「裸女のいる隊列」「蝗」、中国人や朝鮮人「慰安婦」の悲惨な実態。渡辺良三「歌集小さな抵抗」、「慰安婦」を詠う。5. 「慰安婦」を「ピー」と蔑称したのは何故か。6. 軍人倶楽部(慰安所)の規定。7. 「慰安所」の設営・管理を主計官が担当した。海軍主計大尉だった中曾根康弘(元首相)や、陸軍主計中尉だった鹿内信隆(元産経新聞社長)は、「ピー屋(慰安所)の開設」を恥知らずに語る。8. 犠牲者金学順さんを、妓生学校出身者は「慰安婦」になって「当然」視する差別を糾す。9. 「女子勤労挺身隊」は「慰安婦」ではない。朝鮮で就労する女性の実態(朝日新聞社「戦ふ朝鮮」)。日本内地へ送られた全羅北道出身女子挺身隊の集団写真。報国隊・挺身隊「わたしたちも飛行機を」「航空機増産総突撃」。10. 元「慰安婦」城田すず子「石の叫び(TBS ラジオ)」「マリヤの讃歌」と千葉県館山市「ああ従軍慰安婦の碑」。11. 海軍特攻隊員の戦記「修羅の翼」。ラバウル下士官慰安所の朝鮮人「慰安婦」は、女子勤労挺身隊として徴用された元山付近の女性が、船中で「慰安婦」を強制された。12. 日本軍が「慰安婦」集めを業者に命令し、便宜を図った公文書。北支・中支派遣軍への陸軍省兵務局「軍慰安所従業婦募集に関する件」。台湾軍から陸軍省への電報は、「慰安婦」移送への軍協力である。13. 「従軍慰安婦」と名のる鳴海さだの手記「慰安婦部隊」は、「従軍慰安婦」が千田夏光による造語との誤りを糾す。軍属扱いの特殊看護婦の名目で、何千人もが「慰安婦」として海軍の輸送船で南方各地へ送出された。14. 菊地政男「白い肌と黄色い隊長」。セレベスの海軍カンブリ抑留所のオランダ女性を、上官から陸軍同様に「慰安婦」にせよとの命令を阻止した抑留所長の証言である。松竹映画化された。15. ジャワのスマラン駐屯の日本陸軍は、抑留オランダ女性を強制「慰安婦」とした。戦後、バタビア軍法会議法廷で、有罪判決された。軍の直接強制である。オランダ外相は、「強制売春そのものである。河野談話を継承せよ」と述べた(2014. 10. 3)。16. 元台湾特別志願兵の追想「狐女犯」。船底には、捕獲された朝鮮・フィリピン・インドネシアの「慰安婦」たち。インドネシア東ティモールで、現地で拉致された女性が「慰安婦」とされた。



「ああ従軍慰安婦」碑



拉孟で惨死した朝鮮人「慰安婦」遺体



MP 管轄の RAA ビヤホールにて

17. 海軍タイピストの証言、ジャワ島スラバヤと中国海南島の朝鮮人「慰安婦」の悲惨な実態。18. 米軍に保護されたビルマ戦線での、ミートキーナと勝越とで、朝鮮人「慰安婦」の状況を対比。ミートキーナの「慰安婦」を、歪曲派は「高額収入で、自由外出」できたから「性奴隷」ではなかったと情宣する。隠された、中国雲南と結ぶ最前線の勝越では、日本軍は敗走し、生き残った数名の負傷した「慰安婦」だけが保護された。19. 「永遠の哀號」。中国雲南と結ぶ最前線の拉孟では、日本軍は、米中連合軍の攻撃の前に玉砕した。国防婦人会を通して特志看護婦と募集され、「慰安婦」にされた朝鮮人女性が惨死した。米中連合軍に撮影された朝鮮人「慰安婦」惨死遺体。20. 国内の慰安所の朝鮮人「慰安婦」。占領地での現地女性への「レイプ防止」の為の慰安所の名目が崩れる。米軍に保護された沖縄の朝鮮人「慰安婦」と慰霊「青丘之塔」。広島原爆韓国人被爆慰霊碑碑文に刻まれていた女性の被害。長野県松代大本営予定地、奈良県柳本特攻隊飛行場、明石清三「木更津基地…人肉の市」千葉県木更津海軍慰安所。21. 「RAA 関連写真」(日新社旧蔵)、敗戦後、占領米軍の慰安所(RAA)に転用された元軍「慰安婦」たちや新たな犠牲者。

本会の正式会員登録をお願いします。本会集会への参加者は二百名を越しますが、会費未納があります。同封した年会費 2,000 円の振込用紙にて、正規登録を御願ひします。今後、正規会員以外への「独島=竹島ニュース」の配布は停止します。赤字財政のため、カンパでやっと運営しているからです。